

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立県民の森保健休養林	所管課	県有林課
所在地	南アルプス市上市之瀬 ほか	設置年月日	昭和43年8月8日
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県林業公社、平成21年4月1日～)		
設置根拠	山梨県立県民の森保健休養施設設置及び管理条例		
設置目的	一般県民が森林に接しながら、林業知識の習得、緑化思想の高揚、あわせて保健休養の場として利用するため設置した。		
主な施設内容	面積:953.09ha 主な施設:休憩舎2棟、あずまや2棟、展望台1箇所、自由広場、林間広場、森林科学館、森林科学館分室、遊歩道・登山道35.0km等		
主な業務内容	○施設等の維持保全に関する業務 ○森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 ○自然に関する知識の習得に資するレクリエーション及び野外活動の機会提供に関する業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	○山梨県立武田の杜保健養林 健康の森:利用者数35,909人 ○県民の森 南アルプス市施設:利用者数9,168人
---------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数					
	利用者数合計	9,482	8,949	9,010	
	目標値	11,000	11,500	12,000	12,500
	目標値設定の考え方	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の2%増)	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の7%増)	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の11%増)	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の16%増)
	対19年度比	87.9%	82.9%	83.5%	115.8%
稼働率(森林科学館)		14.4%	15.9%	18.3%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	14,774,000	14,872,000	14,872,000	15,028,000
	その他	301,815	296,000	335,397	161,000
	収入合計(A)	15,075,815	15,168,000	15,207,397	15,189,000
支出	人件費	9,127,830	8,958,000	9,067,062	9,101,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	5,688,028	6,210,000	5,717,081	6,088,000
	(うち外部委託費)(B)	1,581,086	1,819,000	1,554,600	1,828,000
	支出合計(C)	14,815,858	15,168,000	14,784,143	15,189,000
収支差額(A-C)		259,957	0	423,254	0
外部委託比率(B÷C)		10.7%	12.0%	10.5%	12.0%
利用者一人当りの経費		1,651	1,239	1,651	1,202

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年4月~23年3月、実施方法:来園者、イベント参加者へのアンケート、回答数:234人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①館内展示	82.2%	17.8%	0.0%	0.0%
②施設・設備管理	63.3%	36.0%	0.7%	0.0%
③催物・事業内容	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%
④パンフレット	67.0%	33.0%	0.0%	0.0%
⑤職員の接客態度	98.1%	1.9%	0.0%	0.0%
各項目の平均	81.4%	18.5%	0.1%	0.0%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	・森林科学科が駐車場の奥にあるため、開館しているか判りにくい。
利用者の意見への対応	・駐車場から森林科学館への歩道に、開館を示す誘導サインを設置した。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	計画通り、実施することが出来た。	業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に実施されている。
運營業務	概ね計画書通りに実施できた。	計画書のとおり実施されている。夏期の開館日の追加は利用者のサービス向上に繋がっている。
自主事業	概ね計画書通りに実施できた。	計画書のとおり実施されている。コウモリフェスティバルなど全国から参加者が訪れるイベントを開催し、自然環境の調査と共に、その成果を外部に発信している。
利用状況	森林科学館の利用者数が目標を達成できなかったため、更なる集客に努めて参ります。	夏休みなど利用者の多い時期に参加しやすいプログラムの拡充とともに、森林科学館のPRについても対策を講じること。
収支状況	概ね計画書通りに実施できた。	概ね計画書通りであり、特に問題はない。
利用者満足度	利用者からは概ね好評を得ているが、維持管理、展示内容、接客、運営等についてより一層充実させるべく努めて参ります。	利用者アンケート等による意見に対して、適切な対応を行っている。
運営目標の達成状況	運営目標指標 ○H23 利用者数 目標値 12,000人 → 実績値 9,010人 ○H23 主催事業参加者数 目標値 571人 → 実績値 602人 森林科学館利用者数は目標値に達しなかったが、主催事業参加者数は目標を達成した。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	指定管理業務は適正に履行されている。 アヤメの衰退などにより公園全体の利用者数が減少しており、森林科学館の利用者数は目標値には達しなかったが、前年度よりは増加し、主催事業参加者数は目標値を達成した。 県民の森周辺の自然環境の調査と、それをベースにした展示やプログラム内容の充実、コウモリフェスティバルなど全国から参加者があるイベントの開催などを積極的に行っており、利用者の満足度も高い。 森林科学館の利用者や主催事業の参加者を確保していくために、参加しやすいプログラムの拡充を図ること。 森林科学館のPRと、駐車場から森林科学館への誘導について対策を講じること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	夏休みなど利用者が多い時期に、予約不要で気軽に参加できるプログラムの開催予定日数を増やした。 駐車場から森林科学館への歩道に、開館を示す誘導サインを設置した。	

7. 管理体制(組織図)

